

January.2016

さが 看護協会だより

公益社団法人
SNA 佐賀県看護協会

T 849-0201 佐賀市久保田町徳万1997-1(看護センター内)
TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603
URL <http://www.saga-nurse.org>
E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp

KANGO



CONTENTS

- ② 会長あいさつ
- ③ WLB推進ワークショップ
- ④ ふれあい看護体験
- ⑤ 教育研修報告
- ⑥-⑦ 看護ふれあいフェスタ
- ⑧-⑫ 各地区支部だより
- ⑬ 看護職再就業支援研修会
- ⑭ とどけるん
- ⑮ 看護職員離職・需要調査報告
- ⑯-⑰ 特集・インフルエンザ感染対策
-ストレスチェック制度について
- ⑱ 協会からのお知らせ・理事会報告
・編集後記



【表紙写真】「有明海」 写真提供:佐賀県観光連盟

看護協会の新たな動き

佐賀県看護協会 会長 三根 哲子



会員の皆様、新年おめでとうございます。

さて、一昨年4月消費税が8%となり、その財源を活用して、看護協会では2025年に向けて、地域で療養し生活する人々を支援するための訪問看護ステーションの活動を地域の方々にPRし、質の高い看護を提供することを使命として、支援体制を充実いたしました。

特に、小児・がん・神経難病等複雑化する利用者ニーズに対応できる訪問看護の提供が求められます。看護協会としては、従来の各種事業に加えて、訪問看護関係者を継続的に支援する「訪問看護サポートセンター」を立ち上げ、研修プログラムを充実して人財育成及び人材確保を推進するとともに、県民及び保健医療福祉関係者への啓発活動を展開しています。

県内のどこに住んでいても、医療機器を装着した医療依存度の高い方々も、安心して家庭で療養できることを支援するために看護技術の向上及び訪問看護の啓発活動に力を注ぐことを、大きな目標としています。そのための、訪問看護研修会は大変盛況で、一部お断りするほどでした。一方、訪問看護技術に関する実習等のニーズは少なく、利用施設(者)を大いに期待しあ待ちしています。特に訪問看護に従事して間もない皆さんには、全国的にも高い評価を受け、注目されている「野の花」の職員の知識や技術から多くを学んでいただけるよう、個別に対応することをお約束いたします。

また、同様の財源で、「ナースセンター事業」を充実します。すなわち、昨年10月から開始された離職者の届け出制度を活用し、やむなき理由で退職した看護職に対して、きめ細かな復職支援情報提供・相談事業を行い、人材確保に力を注ぎます。退職時の届け出にご理解ご協力をお願ひいたします。

さて、今年7月の参議院選挙では、躊躇うことなく、看護職の代表を国会へ！と行動をいたしましょう。特に若い会員の皆さんには、期日前投票の利用をお勧めします。告示日翌日から投票日前日までの間、所定の場所で簡単な手続きで投票することができます。投票所へ足を運び、私たちの団体としての意志を、しっかり示す年といたしましょう。

最後になりましたが、来年から、会員管理体制が変わります。特徴は、会員カードの高機能化と会費納入方法の変更です。会報などの情報に注目してください。

佐賀県看護協会は、常に、会員の皆様のために、会員の皆様とともに今年も進化いたします。ご理解ご支援をお願いいたします。

平成27年度 看護職のWLB推進ワークショップを開催しました

平成27年9月15日（火）・16日（水）「平成27年度看護職のWLB推進ワークショップ」を4つの参加施設以外の病院関係者オブザーバーを含め総勢56名にて開催しました。

参加者の声

- ※WLBと経営が結びつかなかったのですが、研修に参加しWLBの大切さを改めて感じました。
- ※今回の取り組み、働く私たちがどうあるかで私たちのモチベーションを上げたり、環境を変えることが結果的に患者さんへの対応に影響してくることが理解できた。
- ※内容について今回初めて知ったこともあるので、もっと推進してほしいと思う。自施設の動向も知りたいと思った。
- ※インデックス調査結果の分析について勉強になりました。WLBは全ての施設において導入した方が良いと思った。



今村病院



伊万里有田共立病院



NHK取材がありました

施設ごとの個別ワーク

参加施設がインデックス調査による現状把握、その結果を基に現状分析などを行い、今後取り組んでいく課題と解決策を考えました。



佐賀記念病院



ひらまつ病院



佐賀新聞社からの取材がありました

お知らせ

平成28年度看護職のWLB推進ワークショップの参加施設を募集しています。看護職の確保定着を目指し、自施設の現状をインデックス調査で分析、今後に向けての方向性を検討してみませんか。参加希望・お問い合わせは佐賀県看護協会（TEL：0952-68-3299）までご連絡ください。インデックス調査のみの参加も可能です。

◆申込締切日 3月25日（金）

ふれあい看護体験

9月号に「ふれあい看護体験」を載せましたが、今村病院、済生会唐津病院、佐賀県医療センター好生館、国立病院機構東佐賀病院(4施設)の記載漏れがありました。ここにお詫びとともに、掲載いたします。



佐賀県医療センター 好生館

受入担当者のナースより

初めは戸惑いもあり、なかなか患者様に話しかけたり触れ合ったりすることができなかったが、患者様から「ありがとう」という言葉を頂いたり「助かった」という言葉に喜びを感じ、やりがいのある仕事だと感じてもらえた。



国立病院機構
東佐賀病院



今村病院



参加学生の感想より

看護師は患者さんたちや病気の内容に応じて対応していく責任感が強く、とてもやりがいを感じる仕事だと思い、私もしっかり勉強し、将来看護師をめざして頑張ろうと思います。



済生会 唐津病院

教育研修報告

2015年度 全国看護セミナー「看護管理者が元気になるストレスマネジメント」

10月17日(土)13:00~16:00 10月18日(日)9:30~15:30

神奈川県警友会けんゆう病院 医療心理士 小平 さち子 氏



今回の研修には北海道・神奈川県・愛知県・島根県・山口県・九州管内から40名の参加があり、県内からは10名の参加がありました。

講義趣旨は、『看護管理者はストレスフルな現場において、多くの仕事を抱え、あらねばならない自分と葛藤しながらマネジメントをしている。自分自身のケアを後回しにして、患者やスタッフ、医療チームの他職種を支える管理職は、職場風土の形成や医療・看護の質を維持するために重要な役割を担っている。本講座では、積み重なるストレスによって燃え尽きてしまう前に、認知行動療法を活用しながら自分自身について考えるために時間を使い、管理手法としての効果的なコミュニケーションを楽しく学んで明日の活力を生み出す』(講義資料より)でした。



講師の小平先生は看護師として働くうちに看護師が元気でないと患者に与える影響が大きいと、心理学を学ばれて主に看護師のための医療心理士として活躍されています。セミナーの中で先生は看護職の上司と部下との関係についてユーモアを交えながら再現されたので、とても理解しやすく、学んだことを明日からでも活用できる内容でした。

「知っているつもりのコミュニケーション」という話では、2人ずつがペアになって学ぶ演習もあり、日頃のコミュニケーションを振り返る内容でした。また、ストレスの自覚症状を知るためのストレス簡易調査票チェックリストやストレス耐性度チェックリストを紹介され、「2015年12月から実施が義務化されるストレスチェック」を行う前に、ストレスについて深く学ぶことができる研修でもありました。

次年度も全国看護セミナーに佐賀県から多く参加されることを期待いたします。

安武里美(事業部 教育担当)



感染対策の基礎



11月11日(水) 10:00~16:00

済生会唐津病院 感染管理認定看護師 下尾 栄美 氏

今回の研修には94名と多数の参加があり、感染対策への関心の高さが伺われました。

講義では「なぜ感染対策が必要なのか」から始まり、手指衛生を実演や動画を踏まえて丁寧に説明されました。昼休みには実際に手洗いを行い、チェックカードで自分の手洗いの洗い残しを確認することができました。午後からは実際にエプロンやマスク・手袋を使い、着用・取り外しの演習を行い、最後にはオムツ交換の事例の動画を見て、感染対策に着目して考えを深めることができました。

これから冬場に向け感染症が発生しやすい時期になります。ここでの学びを実践し、「患者を守り、自分を守る」を念頭に置き、感染防止に努めて行きたいと思います。

また、感染対策は1人での実践は難しく、組織で取り組んでこそ効果が発揮できると思いました。

伊万里有田共立病院 小野早苗(看護協会教育委員)

医療機能分化に伴う、診療報酬・介護報酬を活かしたケアの実践

11月14日(土) 10:00~15:30

日本看護協会常任理事 福井 トシ子 氏

地域包括支援に向けた自施設や地域での役割を学ぶことを目的に開催し、25施設61名の参加がありました。

社会保障と保険制度の基礎的知識から診療報酬の仕組みとこれまでの変遷についての講義をうけることで、看護に関する診療報酬の理解を深めることができました。参加者の中には内容が難しいと感じる人もいたようですが、福井先生の順序立てた説明や身近な事例の話は、この先求められる医療・看護を実践するために不可欠だと痛感しました。

平成28年度の診療報酬改定に向けて今回の研修はタイムリーな話題でした。その分、参加者の満足が得られるか心配していましたが、それぞれの参加者が自施設の特性を活かした機能分化を考え、取り組むべき事柄が見えてきたという、アンケート結果も得られました。

NHO佐賀病院 出口恵美(看護協会教育担当)